



社会福祉法人 亀天会

平成 29 年度 事業計画

1. 法人理念

「かかわる全ての人を笑顔に、人生を豊かに」

ご利用者の方々とそのご家族、並びに地域で生活しておられる方々のお力添えを頂きながら西条市（旧東予市）で事業を開始して19年目を迎えます。以来、社会福祉法人亀天会はたくさんの人に支えられ、多くのご支援とご指導を頂きながら成長してまいりました。

当会は、福祉の原点は「支えあい」であり、互いに敬い、互いに思いやりをもって過ごすことができるようサービスを提供するとともに、将来にわたり永続した発展を目指してまいります。「私たちの優しさで、地域に笑顔の花を咲かせよう」という気持ちをもって環境や命を大切にされた事業運営に努めてまいります。

2. 基本方針

- ① 礼儀を大切にしましょう。
- ② 丁寧な言葉遣いに心がけましょう。

当会では、生きがいは、「考えること・働くこと・学ぶこと・遊ぶこと・かかわること」と捉えています。ご利用者のみならず職員ひとりひとりが生きがいを感じることができる法人を目指しています。

すべての人の期待に応えるべく、その人が求め、適した手厚いサービスを提供し、生きがいを感じられる環境をつくるためには、一人ひとりと深く関わって共に生きること、つながりを大切にすることが重要です。他者の人生に関わる私たちは、礼儀と思いやりの言葉を大切にして優しさを提供するように努めます。その上で、常に成長し変化しながら、良質なサービスを提供するシステムの構築を目指していきます。また、当会に寄せられる貴重な意見や批判などを真摯に受け止めシステムの改善活動への努力も惜しみません。

当会は、社会福祉法人のあるべき姿を提示するために、人としての豊かさを身につけ、プロとしての専門性を発揮し地域社会の一員として良質な環境作りに寄与してまいります。

3. 社会福祉法人亀天会 年間計画

- ① 理事会・評議員会をそれぞれ年3回以上開催する。
- ② 所属長会議を毎月開催する。
- ③ 運営会を毎月開催し、マニュアルの見直しを検討する。
- ④ 安全衛生委員会を設置、運営する。
- ⑤ 次席者育成のため、次席者勉強会を行う。

【会議開催予定】

開催月	主な議題	構成員
【理事会・評議員会】		
6月	平成28年度決算報告、事業実績 他	理事・評議員・監事・ 施設長・管理者 他
9月	平成29年度事業進捗報告 他	
3月	平成30年度事業計画、平成29年度補正予算 他	
【所属長】		
毎月	毎月10日に開催、法人の事業方針の伝達・確認、事業所の運営状況の報告 他	所属長・次席者
【運営会議】		
毎月	毎月第4金曜日に開催、介護職員を対象に身体拘束・虐待防止マニュアルの見直しを行う。	課長以上の監督者・ 各事業所の介護職員
【安全衛生委員会】		
毎月	毎月5日に開催、労働環境の巡視、労働安全に関する勉強会を行う。	衛生管理者・所属長・生活相談員・介護職員・嘱託医 他
【次席者会】		
毎月	第1、第3火曜日に事業所の運営基準やケアプラン作成等について教育を行う。	事務長・所属長・所属次長
【監事監査】		
5月	平成28年度中における事業実績及び決算の監査を行う。	理事長・事務長・所属長・法人担当職員

事業所名 : 法人本部

1. 理念・基本方針

運営理念	法人理念の実現に取り組むため、法人本部では「支えあうこと」を大切にしています。法人とかがわる全ての人が互いに思いやりを持って過ごせるよう、「つながりを大切に」事業を運営してまいります。
運営方針	<p>①地域に根差した法人を目指すとともに、地域と法人がお互いに認め合い、学びあうことで活力を生み出すことができるよう地域とのつながりを大切にします。</p> <p>②社会が要求する倫理水準を考慮に入れ、教育体制と資格取得への支援体制を整備して、職員全員が広い視野を持ち総合的な知識向上ができるよう職員とのつながりを大切にします。</p> <p>③ご利用者やご家族のニーズに迅速に対応していくため、法人内外問わず連携及び調整を深め、高水準の満足度を目指すとともに、生きがいを感じられる環境づくりができるよう関係機関とのつながりを大切にします。</p>

2. 重点目標

重点目標	社会福祉法人として、職員及び地域住民のニーズに応え、福祉・介護の拠点となる組織を目指します。
年 度 目 標	
①	育児・介護の支援を充実させ、職員にとっても、快適で働きやすい職場環境の整備に取り組みます。
②	施設が抱える問題や課題を把握し、課題解決に向けた取り組みを本部を通して他の施設とも共有することで、施設の円滑な運営をサポートします。
③	福祉サービスや地域で行われる行事などの情報を収集し、情報発信の中心となる取り組みを行います。
④	法人の理念、基本方針等の組織全体の共通の理解を徹底し浸透させ、職員の自律性や事業所との一体感を高めます。
中 長 期 目 標	
①	法人が持つ社会資源を活用したサービスを提供し、地域に貢献する取り組みを行います。

重点目標	法人一人ひとりが法人経営を支えているという意識を持ち、互いに高め合える関係を築くことで法人の発展に寄与します。
年 度 目 標	
①	「礼儀」と「言葉遣い」を常に意識するとともに、秘書クラスのビジネスマナーを身に付けたワンランク上の人材の育成を図ります。
②	法人一括購入の見直しを行い、法人の運営状況の把握と、経費削減、業務の効率化の提案に取り組みます。
③	職場の専門性を高めるための知識習得に向けた個人学習と研修を行い、スキルアップに努めます。
④	介護技術のみならず、マネジメント能力の育成も重視し、管理者、リーダーをつくとともに組織運営や部下の評価、指導を的確に行える人材をつくります。
中 長 期 目 標	
①	意思決定に係る正確な指導を行い、間接的に組織統制に影響を及ぼすことのできる人材の育成を図ります。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域交流に向けた企画の立案と運営を行います。
年 度 目 標	
①	事業所の運営懇談会や運営推進会議に参加し、ご利用者やご家族のニーズを知るため、事業所で開催されている運営懇親会や運営委推進会議等に積極的に参加します。
②	亀天会を深く知ってもらうことができるように、ホームページの再設計を行ったり、他の広報アプローチを考案したりして、広報イメージ戦略を企画運営してまいります。
③	24時間の勤務体制がある介護職員は特に外部への参加が困難であるため、外部の有識者を法人に招いて実務研修を実施するような企画を立案及び運営します。
中 長 期 目 標	
①	法人が地域の社会資源として、地域の活性化や交流の輪の中心となり活動できるよう積極的な広報活動を行います。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
7月	盆踊り大会	地域交流の中心となる施設作りを目指し、地域のお年寄りや子供を中心としたイベントの運営を補佐する。	355,000 円
7月	聖カタリナ大学 学内企業説明会	福祉の世界に就業意欲のある学生に対し、法人の求人活動を行う。	1,000 円
8月	納涼会	今治国際ホテルにて、花火を鑑賞しながら、職員や関係者の交流の場を提供する。	1,485,000 円
8月	福祉人材合同就 職面接会	新規学卒者を対象とした福祉職のみに視点を置いた就職面接会への参加。	1,500 円
10月	第2回 亀天フェス	娯楽を通じて、職員や家族、関係者の交流を図り、健康への意識や体力づくりのきっかけをつくる。	120,000 円
10月	若手社員会社 説明会	勤続3年以下の若手社員による法人のPRの機会を新規学卒者へ行う。	1,500 円

4. 研修計画

重点目標	法人本部職員としての必要なスキルを身に着けるため、内部研修及び外部研修を積極的に行います。
年 度 目 標	
①	定期的に事業所の職員会議において法人の理念や職員心得の原点回帰を図ります。
②	自己の知識を深めるため自ら学ぶ意識を高めるとともに、専門外の情報も収集するよう努めます。
③	総務、経理、人事、介護保険の専門的な知識を深めるため、輪番制で講師を務めることにより、それぞれの分野を深く学習する機会を設けます。
④	自らの業務外のことでも手助けできる知恵を身に付けた人材を育成するため、全員が総合的に同じ知識・情報・技術を身に付けます。
中 長 期 目 標	
①	法人の代表として自己の役割を果たすことのできる体制を目指します。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	愛媛県合同新人研修	愛媛県内の新人職員合同の社会人1年目研修へ参加します。	新卒者
4月	介護予防・日常生活支援総合事業	平成29年4月より開始された介護予防・日常生活支援総合事業の基本的な考えを学びます。	全職員 (介護保険係)
5月	社会福祉法人制度改革	平成29年4月より改正される社会福祉法について学習します。	全職員 (事務長)
6月	平成28年度決算報告	法人の運営状況と社会福祉法人の経営環境を理解します。	全職員 (会計係)
6月	社会福祉法改正について	改正された社会福祉法について、理解します。	全職員 (公認会計士)
7月	職場の安全衛生について	労働安全衛生法について理解します。	全職員 (人事係)
8月	適切な法務手続きの理解	適切な法務文書の流れを確認します。	全職員 (総務課)
10月	非常災害対策	災害が起きた際にとるべき行動について防災マニュアルをもとに再度学習します。	全職員 (総務課)
11月	適切な現金取扱い	経理規程を基にした適切な取扱いを習得します。	全職員 (出納係)
12月	秘書クラスの社会人マナー	あたりまえのワンランク上の社会人としてのマナーの習得します。	全職員 (人事係)
12月	介護報酬改定について	改定された介護報酬について、理解します。	全職員 (公認会計士)
1月	介護保険制度改革	平成30年介護保険改正についての知識を深めます。	全職員 (介護保険係)
2月	介護福祉施設経営概論	介護福祉施設の経営に視野を置いた基礎的な知識を習得します。	全職員 (総務課)
通年	内部監査	他事業所の内部監査を行って手続きを実践で確認します。	理事長より指名された者

※参加者の欄の（ ）内は講師。

事業所名 : 特別養護老人ホーム亀天荘

1. 理念・基本方針

運営理念	亀天荘に関わる全ての人が、穏やかに幸が得られますように
運営方針	<p>①ご利用者やご家族、施設との交流を積極的に図り、今後施設で生活していく上での個々の意向を確認し、皆でご利用者の生活を温かくサポートしていきます。</p> <p>②医療機関と施設の連携により日々の健康管理に努め、住み慣れたこの場所で、安心していつまでも暮らせるよう支援します。</p> <p>③各専門職がカンファレンス等を開催し個別の支援計画を作成することでの確かな生活の支援を行い、稼働率の向上に努めます。</p> <p>④ご利用者が生活しやすい、また職員が働きやすい環境づくりに努めるとともに、職員間のコミュニケーションの促進を図り職員の離職率低下を目指します。</p>

2. 重点目標

重点目標	入所後のご利用者の生活をご家族、施設が共に支援できるようコミュニケーションを図り、協力態勢の構築に努めます。
年 度 目 標	
①	施設で希望される生活や緊急時の対応、処置などについてのご利用者、ご家族の意向を把握します。
②	3ヶ月に1回程度ご家族と施設職員が面談する機会を作り、ご利用者の現況を伝えるとともに、日々変化のご家族のご利用者への気持ち、また、施設に対する要望の把握に努めます。
③	ご家族へ積極的な行事参加やボランティア活動を促し、活気溢れる施設づくりを行います。
中 長 期 目 標	
①	ご家族や地域住民、外部のボランティアの方々に敬老会や正月の餅つき等の施設行事や外出支援等に参加していただき、また運営推進会議等の開催も視野に入れ地域に開かれた施設運営を目指します。

重点目標	ご利用者の日常の健康管理を適切に行い、異常の早期発見に努めるとともに、多職種で情報を共有し適切な支援を行います。また、協力医療機関との連携に努め早期治療に努めます。
年 度 目 標	
①	カンファレンス等にて各職種間の情報共有に努め、統一した処遇を行います。また、各種支援計画についても連動性のある支援計画の作成を行い様々な分野からご利用者の支援を総合的に行っていきます。
②	日々のバイタルチェック等を行い、看護師や介護職員がご利用者の健康状態の把握に努めると共に医療機関と連携し予防、早期治療に努めます。また、ご利用者の体調が急変した際には適切な対応ができるよう、職員の知識、技術の向上に努めます。
③	ご利用者の健康状態に応じて今後の予測を立て、入退所の管理を行います。退所される際には受け入れ先の紹介等の支援を行います。
中 長 期 目 標	
①	協力医療機関と連携し医療機関への住み替えや施設での看取り、在宅復帰などご利用者の健康状態に応じて適切な支援や紹介が行えるよう協力機関との連携を強化します。

重点目標	職員個々がルールや役割を認識し、協力して目的を遂行しやすい環境作りを行います。
年 度 目 標	
①	全体目標に対して個々が個人目標を立て、一つの目標に向かって協力して取り組んでいきます。
②	役職者に限らず職員同士が違うことを違うと指摘し合える環境づくりに努めます。そのためにも根拠を大切に正しい知識・技術の共有を研修などを開催し行っていきます。
③	月に1回、各職種が集まり目的に対する進捗状況を確認しあい、課題や今後について検討し目的達成への意識付けを行います。
中 長 期 目 標	
①	目標を達成することで成功体験とし、それを積み上げていくことを喜びに変え活気ある職場にしていきます。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域福祉の拠点として、施設の活動を地域住民の方々に理解して頂くとともに、積極的に地域行事への参加を行い地域での福祉活動を活性化させていきます。
年 度 目 標	
①	小学生や中学生の職場体験、見学やボランティアの受け入れを積極的に行います。
②	地域で開催される行事（清掃活動、敬老会、お祭り）等に出向き、地域の一員として活動して行きます。
③	地域住民が気軽に立ち寄り、介護相談ができるよう、民生委員等と連携を図り、地域福祉を支えていきます。
中 長 期 目 標	
①	地域の中の施設として、お年寄りから子供まで誰もが気軽に立ち寄り、また地域行事を地域住民と共に主催し、地域の活性化に役立てるよう平成 32 年度までに地域住民との交流の機会を増やし良好な関係づくりに努めます。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4 月	ドライブ 誕生会	お花見（桜） 月例誕生会	500 円／回
5 月	東予高等学校バラ 鑑賞会 誕生会	バラ鑑賞 月例誕生会	500 円／回
6 月	ドライブ 誕生会	ドライブ（あじさい見学） 月例誕生会	500 円／回
7 月	夏祭り	盆踊り（亀天荘にて実施）	230,000 円
8 月	七夕祭り 誕生会	七夕祭り見学 月例誕生会	500 円／回
9 月	ドライブ 誕生会 敬老会	ドライブ 月例誕生会 敬老の日を敬老会で祝う	500 円／回 10,000 円
10 月	地方祭り 誕生会	地方祭り見学 月例誕生会	5,000 円
11 月	紅葉狩り 誕生会	紅葉観賞 月例誕生会	500 円／回

月	行事名	内容	予算
12月	誕生会 クリスマス お餅つき	月例誕生会 クリスマス 正月用お餅つき（月末実施）	15,000円
1月	初詣 誕生会	神社参拝 月例誕生会	500円／回
2月	誕生会 節分	月例誕生会 節分にて豆まき	300円
3月	誕生会 ひな祭り ホワイトデー	月例誕生会 ひな祭り 手作りおやつ	500円

4. 研修計画

重点目標	ご利用者の生活の安心、安全につながるよう必要な知識、技術を身に付けるとともに、健康状態の変化や急変時の対応が行えるよう研修を行ってまいります。
年 度 目 標	
①	介護の現場に必要な介護・看護の知識や技術の習得を行う為、外部研修への参加を積極的に行い、内部研修の開催を行うことで介護職員の質の向上に努めます。
②	看取りや感染症の研修等、ご利用者の生命に関する研修に積極的に参加し、ご利用者が安心して生活できるよう知識を深めてまいります。
③	職員個々の知識・技術の向上を図る為、資格取得を促すとともに必要な研修や支援を行います。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者やご家族が希望される看取りや在宅復帰に向けた支援ができるよう職員の知識・技術の向上に努めます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームとはどのような施設か ・食事介助について 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームとはどのような施設か、法律や基準について理解を深める ・食事介助の方法を学ぶ 	全職員
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設における虐待とは ・更衣介助について 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設における虐待について知り、自施設で起こさないように理解を深める ・更衣介助の方法を学ぶ 	全職員
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・役割について ・ベッドメイキングについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務における職員一人一人の役割について理解を深める ・ベッドメイキングの方法を学ぶ 	全職員
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・法律でみる介護事故について ・レクリエーションについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・法律からみた介護事故について学ぶ ・レクリエーションについて学ぶ 	全職員
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケア～身体拘束廃止にむけて～ ・口腔ケアについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な認知症の方の対応方法について理解を深め、身体拘束0を目指す ・口腔ケアの方法を学ぶ 	全職員
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡について ・高齢者の疾患（骨折）について ・看取りに係る基礎知識～不安解消～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡についての基本や分類について理解を深める ・骨折についての知識を深め、その対応策を学ぶ ・看取りの基礎知識を深め、ご利用者・ご家族・職員の不安の解消を図る 	全職員
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・機能訓練について ・トランスファーについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中での機能訓練を学び実践する ・トランスファーの方法を学ぶ 	全職員
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク者のポジショニング ・入浴介助について 	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡予防のための正しいポジショニングを理解する ・入浴介助について学ぶ 	全職員

月	項目	内容	参加者
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザについて ・認知症ケア～身体拘束廃止にむけて～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザについて知り、その対処法を学ぶ ・様々な認知症の方の対応方法について理解を深め、身体拘束0を目指す 	全職員
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ノロウイルスについて ・ネグレクトについて ・看取りに係る基礎知識～不安解消～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノロウイルスについて知り、その対処法を学ぶ ・虐待の一つであるネグレクトについての知識を深め、虐待を防止する ・看取りの基礎知識を深め、ご利用者・ご家族・職員の不安の解消を図る 	全職員
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがちな介護事故とその予防策 ・排泄介助について（ベッド） 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設でよく起きる事故について学び、その予防策を考える ・ベッド上での排泄介助について学ぶ 	全職員
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい食生活 ・排泄介助について（トイレ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい食生活について学び、栄養の面から見た介護について理解する ・トイレにおける排泄介助について学ぶ 	全職員

※その他・・・東予地区老人福祉施設協議会研修事業の外部研修への参加（計15回程度、日時未定）

事業所名 : 短期入所生活介護事業所 亀天荘

1. 理念・基本方針

運営理念	亀天荘に関わる全ての人が、穏やかに幸が得られますように
運営方針	<p>①ご利用者、ご家族の希望を尊重し、ご家庭と同じような環境のもと安心、安全なサービスの提供を行います。</p> <p>②介護支援専門員や各職種が情報を共有し継続して在宅生活が送れるよう支援していきます。</p> <p>③居宅介護支援事業所や在宅介護支援センター等と協力し、地域福祉の拠点として要支援者や要介護者の生活のサポートを行います。</p>

重点目標	ご家庭での生活状況を把握し、各専門職が在宅生活を継続して過ごせるように各種支援計画を作成し適切なサービスを提供します。
年 度 目 標	
①	ご利用前に介護支援専門員や機能訓練指導員等がご自宅を訪問し、ご家庭での生活環境や施設への要望を確認し、在宅での生活と施設での生活に連動性をもたせ在宅生活を支援いたします。
②	施設での生活の様子や状態をご家族へ定期的に報告することで施設とご家族がともにご利用者を支え、透明性のある運営を行っていきます。
中 長 期 目 標	
①	平成 32 年度までには施設とご家族がご利用者の在宅での生活を協力して支援できるよう信頼関係の構築に努めるとともに、なじみの関係を築き施設と在宅での生活の差が少なくなるよう努めリピータの増につなげます。

重点目標	他の介護施設や協力医療機関と連携し、ご利用者の生活を様々な分野から支援していきます。
年 度 目 標	
①	ご利用者の健康状態や生活状況を把握し、その方の状態にあったサービスの提供、紹介を行い、今後のご利用者の生活を総合的に支援していきます。
②	各サービスの紹介を適切に行えるよう関係機関の情報の把握を行うとともに、ご家族へも定期的に面談を行い、予後について共に検討していきます。
中 長 期 目 標	
①	今後予測されるご利用者の健康状態、生活環境をご家族と共に話し合い、その状態にあったサービスの提供、若しくは他の介護事業所、協力医療機関を紹介することでご利用者の生活を豊かなものに変えていきます。

重点目標	地域で生活されている要支援者や要介護者の把握を行い、緊急時等には積極的に受け入れを行い、地域の介護の拠点としての活動を行っていきます。
年 度 目 標	
①	居宅介護支援事業所や在宅介護支援センター等とともに、在宅で生活されている要支援者や要介護者のご自宅を訪問し介護サービスの紹介を行い、介護サービスが必要な際にはスムーズな受け入れが行なえるよう努めます。
②	特別養護老人ホームへ申込をされている方々の現況を把握し、在宅生活を円滑におくりながら入所を待つことができるよう支援していきます。
中 長 期 目 標	
①	施設近隣の在宅で生活されている介護が必要な方や特別養護老人ホームへ申し込みをされている方の現況を把握し、在宅生活を継続、支援しつつ必要な施設サービスへスムーズに移行できるよう体制の整備を行っていきます。

事業所名 : デイサービスセンター亀天荘

1. 理念・基本方針

運営理念	ご利用者一人ひとりが「来てよかった」と思ってもらえるようなサービス提供を行うと共にご家族が安心して託せる家庭的でぬくもりのある事業所運営を目指します。
運営方針	<p>①自分の親や知人が安心してご利用できるように、安全を最優先しながら、常にご利用者の声に耳を傾け、親切で丁寧な優しい介護を行います。</p> <p>②自分が利用したいと思えるよう、楽しみなことが待ち構え、心地よい雰囲気の中、好きな活動が楽しめる環境を提供致します。</p> <p>③同業者が研修に来た際に、「勉強になった」「真似したい」と思ってもらえるような工夫に満ちた業務遂行を行います。</p>

2. 重点目標

重点目標	ご利用者一人ひとりの活動が充実するよう、グループ分けを行い、それぞれに居心地の良い環境を提供します。
年 度 目 標	
①	認知症グループへの専門的な関わり、取り組みを行い、おだやかに過ごせる環境を提供します。
②	ご利用者の話をよく聞き、ニーズに応じた活動が意欲的に行えるよう支援します。
③	小グループにて、買い物やドライブ等、ご利用者のニーズに応じて、喜んで頂ける外出行事を提供します。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者やご家族からご紹介を頂けるよう、サービスの充実に努めます。

重点目標	常に業務遂行基準を意識、改善しながら質の高いサービス提供を全員で取り組みます。
年 度 目 標	
①	日々の気づきを大切にし、業務改善に取り組みます。
②	ご利用者へのこまめな声掛けと職員間の連携を大切にし、介護事故「0」交通事故「0」を目指します。
③	ご利用者の話をよく聞くことで、信頼関係を築き「あなたがいないと困る」と感じて頂ける職員を目指します。
中 長 期 目 標	
①	組織の一員として誇りを持って仕事ができる職員の育成を図ります。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	社会資源を大いに活用し、外出の機会や地域との交流を積極的に図ります。
年 度 目 標	
①	ボランティアや慰問の受け入れを「3か月に1回以上」行い、地域交流を図ります。
②	法人内の他施設との交流を「3か月に1回以上」行います。また、新規開設予定の託児所の子供たちとの交流を毎月行います。
③	小グループにて毎月外出行事を行い、地域との交流を図ります。
中 長 期 目 標	
①	デイサービスから慰問に行ける関係作りを目指します。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	桜花見ドライブ	実報寺、朝倉公園、旦之上公園	700円
5月	藤花見ドライブ	喜多台公園	700円
6月	紫陽花ドライブ	あじさいロード	700円
7月	盆踊り大会	特養合同、地域住民参加	特養に含む
8月	かき氷パーティ	手作りおやつ	750円
9月	敬老会	職員による出し物、プレゼント	23,000円
9月	避難訓練	特養合同	特養に含む

月	行事名	内容	予算
10月	運動会	紅白対抗戦	無料
11月	文化祭	利用者、職員による出展	3,000円
11月	紅葉ドライブ	仙遊寺	700円
12月	クリスマス会	職員による演奏や合奏、プレゼント	23,000円
1月	初詣	宮之内神社	無料
2月	梅花見ドライブ	綱敷天満宮	700円
3月	ひな祭り	職員やボランティアにて演奏会	4,500円
3月	避難訓練	特養合同	特養に含む
毎月	誕生日会	誕生日のお祝い、プレゼント	27,600円
随時	他事業所との交流	法人内事業所とのご利用者との交流	無料
随時	ボランティア	地域の方による慰問の受け入れ	2,400円
随時	子供たちとの交流	託児所や小学生など、子供たちと交流	2,000円

4. 研修計画

重点目標	やる気、専門知識、調整能力、人望、健康を備えた介護のプロとして責務と意義を強く持ち、目標達成に向けて足りない所を補います。
年 度 目 標	
①	必要とされる資格を取得し、専門性を高めます。
②	外部研修では特に認知症や機能訓練に関する研修を選定、受講し、職務に活かします。
③	内部研修では課題に沿った内容を検討し、業務の統一を図ると共に足りない部分を補えるよう実践に活かせる研修を行います。
中 長 期 目 標	
①	地域やご家族さんから「さすが亀天荘の職員さん」と言われるよう知識や技術はもちろんの事、人間的に成長します。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	介護保険制度	総合事業について	全職員
5月	交通安全研修・運転心得	西条警察署指導	全職員
6月	感染症予防	衛生的手洗い実践	全職員
6月	認知症介護実践者研修	愛媛県主催	介護1名
7月	認知症を理解する	認知症の種類、対応方法	全職員
8月	防災について	準備、対応について	全職員
8月	認知症介護実践者研修	愛媛県主催	介護1名
8月	介護技術向上講習会	愛媛県主催	介護1名
9月	介護技術・記録	正しい介護技術や記録について	全職員
10月	認知症介護実践者研修	愛媛県主催	介護1名
10月	緊急時の対応	急変時の対応方法	全職員
11月	感染症予防	ノロウイルスとインフルエンザの対応方法	全職員
12月	認知症介護実践者研修	愛媛県主催	介護1名
12月	高齢者虐待と身体拘束	虐待や身体拘束の種類	全職員
1月	業務遂行と役割	改善点の話し合い	全職員
1月	介護技術向上講習会	愛媛県主催	介護1名
2月	守秘義務について	守秘義務の重要性について	全職員
3月	振り返りと目標共有	反省と新しい目標の共有	全職員
随時	デイサービス関係の研修	管理者、認知症や機能訓練、レクリエーションに関する外部研修	デイ数名
随時	ケース会議	ケアプランの見直し	担当者

事業所名 : 在宅介護支援センター亀天荘

1. 理念・基本方針

運営理念	地域に住む高齢者に関する各種の相談を受け、関係機関と連絡、調整を行い、適切な支援を行います。
運営方針	①相談者と真摯に向き合う事で信頼関係を築き、問題解決に努めます。 ②介護予防事業として「いきいき百歳体操」「高齢者のつどい」を実施します。 ③地域で困っている方を対象に地域ケア会議を開催し、地域との連携、ネットワーク作りに努めます。

2. 重点目標

重点目標	独居、高齢者世帯への支援を積極的に行います。
年 度 目 標	
①	担当している地域のご自宅へ訪問し、状況の把握、支援を行います。
②	民生委員、見守り推進委員との情報交換を定期的に行います。
③	地域の集会に積極的に参加し、実態の把握に努めます。
中 長 期 目 標	
①	地域包括ケアシステムの中核的な役割を担います。

重点目標	地域で困っている方を対象に地域個別ケア会議の開催を行います。
年 度 目 標	
①	居宅事業者、民生委員等と連携し、対象者の把握を行います。
②	見守り推進委員と協力し、定期的に自宅訪問を行います。
③	地域活動の主要な所へ出向き、ネットワーク作りを行います。
中 長 期 目 標	
①	活動を通じて地域のネットワークを強化します。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域のニーズや実情に応じた地域貢献事業を行います。
年 度 目 標	
①	買い物支援事業を行います。
②	病院受診移送支援事業を行います。
③	高齢者のつどい事業を月一回開催します。
④	いきいき百歳体操を2ヶ所行います。
中 長 期 目 標	
①	地域包括ケアシステムの中核的な役割を担います。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月 ～ 3月	高齢者のつどい事業	庄内、三芳公民館にて高齢者を対象に憩いの場所づくりを目的に運営、実施します。	無料
4月 ～ 3月	買い物支援事業	買い物に困っている地域の高齢者を対象に買い物支援を行います。	3,000円
5月 ～ 3月	病院受診移送支援事業	独居の方を対象に登録制にて病院へ移送支援を行います。	3,000円
11月	河北会館ふれあい祭り	「福祉と人権」の交流の場として参加させて頂き、「相談コーナー」を担当します。	無料
11月	西条産業祭	他の在宅介護支援センターと協力しながら参加し、福祉コーナーを一室設け、より多くの方に福祉を知ってもらいます。	無料
5、6月 9、10月	いきいき百歳体操	高齢者を対象に各公民館、集会所にて、1クール12回実施します。おもりを付けて、ゆっくりとした体操や、かみかみ百歳体操も一緒に行います。	無料

4. 研修計画

重点目標	地域支援事業の改正をふまえて、支援センターとしての役割を理解します。
年 度 目 標	
①	外部研修会への参加を行います。
②	定例会に参加し、情報の収集に努めます。
③	日々福祉ニュースや福祉新聞記事を読み見識を広めます。
中 長 期 目 標	
①	総合的に幅広い知識を身につけます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
毎月	在支連絡会議	活動報告、研修等	管理者
随時	ケアマネ連絡会議	研修会	管理者

事業所名 : 居宅介護支援事業所 亀天荘

1. 理念・基本方針

運営理念	高齢者の相談やご要望に迅速に対応ができるような組織体制を確立し、ご利用者、ご家族の信頼や満足度を向上できるように努めます。
運営方針	①常にご利用者、ご家族への相談や要望に対応できる組織体制を確立します。 ②拠点区域を拡大し、必要な支援を行います。 ③関係機関との連携を図り、高齢者が安心して生活できるように努めます。

2. 重点目標

重点目標	介護保険事業所の少ない地域への必要な支援とサービス提供を行います。
年 度 目 標	
①	担当者、人員配置の検討を行います。
②	地域の特性の分析を行い、高齢者の分布状況を把握します。
③	予防給付利用者の受け入れを各関係機関へ周知します。
④	上記をもとに必要な支援、サービスの検討、提案を行います。
中 長 期 目 標	
①	拠点区域の拡大、充実ができ、本来、支援やサービスが必要な高齢者に必要な支援を行います。

重点目標	新たな目で既存の業務を見直し、効率的に業務を行います。
年 度 目 標	
①	業務で使用・作成している書類の見直しを行い、書式の簡素化や不必要な書類作成を無くし、業務の効率化を図ります。
②	担当ご利用者宅への訪問ルートや地区割りを見直し、必要であれば担当交代を行い、効率よくご利用者宅へ訪問します。
③	職員会議・月例会議で業務の不具合や非効率な業務がないか確認しあい、改善策を会議で検討、決定します。
中 長 期 目 標	
①	移動時間、コストの軽減と業務全体の効率化を図ります。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	亀天会を身近に感じてもらえるように地域への浸透を図ります。
年 度 目 標	
①	在支と連携を図り、地域行事や在支主催の行事に参加し、地域の方との交流を図ります。
②	地域の方から相談があれば訪問し、話を十分傾聴して解決を図り、信頼向上に努めます。
中 長 期 目 標	
①	地域で頼られる事業所となり、気軽に立ち寄れる事業所になります。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
毎月 1回	高齢者の集い	公民館を活用し、地域の高齢者の交流の場を作ります。	無料
11月	河北ふれあい祭り	隣保館の河北会館にて毎年、展示、催し、バザーを開催し、世代間交流、地域間交流の場を作ります。	無料

4. 研修計画

重点目標	在宅介護支援の専門性を活用できるように、職員のスキル向上に努めます。
年 度 目 標	
①	内部研修を週1回、各職員持ち回りで実施し、知識向上を図ります。
②	職員のスキルを見極め、外部研修へ積極的に参加し知識向上や情報収集を行い、日々の処遇向上に努めます。
③	常に新しい情報の収集に努め、事業所で共有を図り知識向上に努めます。
中 長 期 目 標	
①	知識の向上ができ、的確にご利用者、ご家族に助言・指導が行え、ご利用者、ご家族の信頼向上につながるようにします。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
毎月 4回	居宅サービス会議	介護保険外の制度、高齢者に多い疾患やケアプラン作成など、介護支援専門員業務に必要な知識を持ち回りで勉強会を行い、スキル向上を図ります。	全職員

事業所名 : グループホーム 亀天福寿苑

1. 理念・基本方針

運営理念	“一緒に” “共に” を大切にし、私たちは支援します。
運営方針	①ご利用者、1人1人が「その人らしく」生活が送れるよう支援します。 ②ご家族と積極的に交流し「安心」を提供します。 ③地域の方との交流を行い、より良い関係作りを行います。 ④職員の質の向上を目指し、より良い職場環境を提供します。

2. 重点目標

重点目標	1人1人の生活歴や意思を尊重し、ご利用者が心から安心と思える生活が送れるように心がけます。
年 度 目 標	
①	1人1人の生活歴を把握し、ご利用者が得意としていることが生活の中で発揮できるよう介護計画に取り入れ、その計画に沿った支援を行います。
②	1人1人の意思を尊重し、過剰介護とならないよう個別ニーズに合わせた支援を行います。
③	日々の生活やレクリエーション・季節の行事の充実を図り心身ともに1人1人の機能維持が図れるようにします。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者、1人1人が目的を持った生活意欲が出るように自立支援型介護を心がけます。

重点目標	職員の定着率が増加するようにします。
年 度 目 標	
①	定期的なストレスチェックや個別面談を増やし、相談しやすい環境を目指します。
②	職員間でのコミュニケーションを図り、楽しい職場作りを行う。
中 長 期 目 標	
①	全ての職員が、働きやすい職場環境を目指します。

重点目標	ご家族と一緒にご利用者を支え「福寿苑が楽しい場所」と思って頂けるよう心がけます。
年 度 目 標	
①	日々の様子や状態をお伝えし、ご家族と一緒にご利用者が望んでいる事を考えます。
②	ゆったりとした面会の確保や行事参加を促進し、ご家族が来苑する機会を作り、ご利用者と一緒に楽しんで頂ける時間を増やします。
③	ご家族同士の交流がスムーズに出来るように心がけます。
中 長 期 目 標	
①	1人1人のご家族から信頼される施設を目指します。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	運営推進会議・趣味の会や地域行事の参加を通じて、身近に感じる苑を目指します。
年 度 目 標	
①	地域の方々との挨拶や苑周辺の掃除を積極的に行います。
②	運営推進会議・趣味の会を継続し、内容の充実や広報に力を入れ参加者を増やします。
③	高部地区防災連絡会議や地域行事に参加し、地域の方と一緒に過ごす時間を作ります。
中 長 期 目 標	
①	地域の方々との情報の共有が出来る関係作りを心がけます。

重点目標	福寿苑の様子を 1 人でも多くの方に知って頂くように心がけます。
年 度 目 標	
①	入所支援センターや居宅介護支援事業所・地域連携室等の方と連絡を取り合い、情報の共有を行い、施設見学の方を増やします。
②	民生委員の方と情報を共有し、自宅での生活が困っている方に対して支援が出来る様に心がけます。
中 長 期 目 標	
①	居宅介護支援事業所・地域連携室・民生委員等から多くの相談が受けられるようにします。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	プレート作り 運営推進会議	玄関等に飾るプレート作成します。 運営状況、行事報告、意見交換を行います。	1枚 1,000円
5月	クッキー作り 高部地区お祭り	参加者・職員と共にクッキー作りを行います。 高部厳島神社へお祭り見学にご利用者と一緒に出かけます。	2,000円 無料

月	行事名	内容	予算
6月	職員によるストレッチ体操 運営推進会議	職員が考案したストレッチを参加者と共に行います。 運営状況、行事報告、意見交換を行います。	無料
7月	踊りの練習	ボランティアの方に踊りを指導して頂き交流の機会を増やします。	無料
8月	夏祭り 運営推進会議	盆踊り等夏のイベントを開催します。 運営状況、行事報告、意見交換を行います。	15,000円
9月	敬老会	ご利用者を敬う月です。職員による慰労会を行います。	5,000円
10月	梨狩り 運営推進会議	農園での梨狩り・生みたて卵での買い物などでドライブをします。 運営状況、行事報告、意見交換を行います。	実費
11月	文化祭	職員やご利用者の作品展や喫茶コーナーを行います。	5,000円
12月	クリスマス会 運営推進会議	クリスマス会で職員の催し物や来苑者と共に参加するイベントを行います。 運営状況、行事報告、意見交換を行います。	5,000円
2月	運営推進会議	運営状況、行事報告、意見交換を行います。	
3月	波止浜地区文化福祉祭り	ご利用者・ご家族・職員の作品を展示します。ご利用者と一緒に見学に福祉祭りに出掛けます。	2,000円

1月～3月は、インフルエンザ流行時期になる為、行事は実施しません。

*毎月第3木曜日は、ボランティアの先生が来苑し、コーラス会を行います。

*高部公民館にて行われる高部地区防災会議に出席します。

*地域のイベント情報を集め、参加します。

*学生の職場体験の受け入れを行います。

4. 研修計画

重点目標	グループホームに求められている家庭的な雰囲気を大切にし、知識・技術の向上を目指します。
年 度 目 標	
①	グループホームの役割、職員の役割を職員全体で共有します。
②	職員の長所を活かし、活気ある職場を目指します。
③	内部研修・外部研修に積極的に参加し、職員全体で共有します。
中 長 期 目 標	
①	介護の質が向上することで、ご利用者、ご家族に穏やかな生活・安心を提供します。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	グループホームとは (プライバシー保護を含む)	グループホームに入られる方はどのような方か。グループホームに求められている事は何か。福寿苑はどのようにご利用者、ご家族に支援していくかを学び、プライバシーについても考えます。	全職員
5月	基本介護技術について	介護技術を学び、入居者の方が安全、安楽、安心して行える介助の基本を習得し、入居者の方の介護度に合わせて支援出来るようにします。	全職員
6月	感染症について。(食中毒について)	食中毒予防の3原則や食中毒の原因は何か。どのような対応を行えば良いかをマニュアルに沿った対応方法を学びます。	全職員
7月	リスクマネジメントについて	ヒヤリハットと事故の違いを学び、危険予測が出来るような支援方法を学び、マニュアルに沿った対応方法を学びます。	全職員

月	項目	内容	参加者
8月	記録について	記録の重要性や書き方、ケアプランに沿った記録の大切さを学びます。	全職員
9月	接遇について	接遇マナーを学び、ご利用者の方やご家族とより良い信頼関係が築けるようになります。	全職員
10月	コミュニケーションについて	認知症の方とのコミュニケーションを考え、脳の働きを理解して、認知症の方の特徴をとらえた言葉かけの仕方を学びます。	全職員
11月	防災・防犯について	緊急時における対応方法を具体的な例を参考に考え、いざという時に行動が起こせるようになります。	全職員
12月	感染症について	感染予防方法や予防の必要性、平常時の対応、発生時の対応を学びます。	全職員
1月	認知症の種類について	認知症という病気の種類を学び、BPSDと対応方法を考え、実践できるようになります。	全職員
2月	身体拘束・虐待について	虐待と身体拘束について学び、なぜしてはいけないかを考えてより良い支援を目指します。	全職員
3月	夜間緊急対応について	夜間帯では、何に注意が必要なのか。緊急時の迅速な対応、適切な処置、連絡体制の確認を行い、知識を深め対応します。	全職員

*認知症の方に対しての対応方法を常に考えて研修を行います。

*入居者の方の自立支援と尊厳の保持を念頭に置いて業務並びに学習を行います。

1. 理念・基本方針

運営理念	<p>認知症という病気から自立した生活が困難になったご利用者に家庭的な環境を整え、落ち着いた自分らしい生活が出来る事を目的に支援を行います。</p> <p>ご利用者個々に生活の違いを介護サービスへ個別に取り入れ、ご利用者の日々の安定とご家族の安心を提供していきます。</p> <p>職員の専門性を発揮するため、研修や学習会をかさね、質の向上を行います。</p>
運営方針	<p>①ご利用者の思いやありのままの状況を正確に把握し理解する事で本人の望む生活のあり方、また生きがいや遣り甲斐などを見出し、介護が必要な状況であっても自分らしく生きる為の支援を行います。</p> <p>②ご利用者の体調管理や心身の状態観察と把握に努め、ホームでの暮らしが安心して送れるように支援を行います。</p> <p>③ホーム行事や地域行事、運営推進会議等を通してご家族や地域の方々と多くの交流を図れるように取組み、情報発信や情報交換を行い、地域の一員として共に歩んでいきます。</p> <p>④職員の能力・資質の向上の為、内部研修・外部研修を積極的に実施致します。</p>

2. 重点目標

重点目標	<p>ご利用者の心身の状態観察・把握を密に行い、体調変化の早期発見及び主治医やご家族と連携対応する事で病気の重症化を防ぎ、安心して生活が出来るように努めます。</p>
年 度 目 標	
①	感染症予防対策の徹底を行います。
②	介護職員、看護師、主治医との連携を行い、病気の重症化を防いでいきます。
③	ご利用者の食事、水分摂取量、排泄など細かく状態観察を行い、異常の早期発見に努めるとともに、ご家族とのコミュニケーションを密に行うことで安心して生活が出来るように支援します。
中 長 期 目 標	
①	多方面との連携を継続することで、ご利用者やご家族との信頼関係の向上を図ります。

重点目標	ご利用者が生きがいや楽しみ、日常生活の中で役割を持って充実した時間を過ごすことが出来て、安心して生活できるように支援します。
年 度 目 標	
①	ご利用者個々の身体機能や残存機能に応じた、本人の遣り甲斐や達成感を持てるようなケアプランを立てて支援します。
②	ご利用者の能力や趣味に応じたレクリエーションの内容の充実を図り、認知症進行予防が出来るように努めます
③	センター方式を用い、職員全員でアセスメントに関わることで、多方面からご利用者のニーズを把握し、ご利用者の理解につとめます。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者の心身のレベルや思いを把握することで、楽しく暮らせて居心地の良い場所を提供し、継続利用率の向上を図ります。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域との関わりを大切にし、気軽に訪問していただける事業所を目指します。
年 度 目 標	
①	学校の運動会等の行事への参加や公民館活動への参加を行い、地域との交流を図ります。
②	ご家族が出席参加できるような行事を実施し、ご家族とご利用者が楽しみながら家族交流出来る時間を提供します。
③	運営推進会議を通してご家族や地域の方への情報発信や情報交換を行い、ボランティアや慰問の受け入れを積極的に行います。
中 長 期 目 標	
①	運営推進会議にご家族や地域の方がより多く参加して頂けるように働きかけと工夫を行い、会議の活性化を図り地域により開かれた事業所になります。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	お花見	お花見のドライブに出かけ季節感を味わっていただきます。	2,000円
	誕生会	3月、4月誕生者のお祝いをします。	2,000円
5月	藤見学	藤の花の見学ドライブを行い、気分転換を図ります。	2,000円
	端午の節句	食レクでおやつ作りを行い端午の節句をお祝いします。	無料
	運動会見学	地域の小学校の運動会見学を行い童心に帰って楽しんで頂きます。	無料
	運営推進会議	運営状況・行事報告を行い、意見交換をします。	無料
6月	紫陽花見学	紫陽花ロードへ紫陽花見学に行き気分転換を図り外気浴を行っていただきます。	2,000円
	歌謡ショー	ボランティアによる歌と踊りの歌謡ショーを見学して頂きます。	無料
	誕生会	5月、6月誕生者のお祝いをします。	2,000円
7月	七夕	七夕飾りと笹飾りを作ります。	2,000円
	夏まつり	亀天荘夏祭りに参加して盆踊りを楽しんで頂きます。	無料
	運営推進会議	運営状況、行事報告、意見交換等行います。	無料
8月	丹原七夕見学	丹原町商店街の七夕飾りの見学に行き気分転換を図って頂きます。	2,000円
	食レク（おやつ作り）	涼菓子作りを行います。	2,000円
	誕生会	7月、8月誕生者のお祝いをします。	2,000円
9月	敬老会	ご家族を招待して敬老会を行い、家族交流を行います。	6,000円
	運営推進会議	運営状況、行事報告を行い意見交換を行います	無料

月	行事名	内容	予算
10月	秋祭り	子供みこしや地域の獅子舞を楽しみ、 地域の方と交流する	無料
	運動会	ご家族を招待して運動会を行い家族 交流を図ります	2,000円
	誕生会	9月、10月誕生者のお祝いをします	2,000円
11月	ふれあい祭り	河北会館のふれあい祭りに参加して 地域の方々と交流を図っていただき ます。	無料
	食レク	お彼岸に合わせておやつのおはぎ作 りをします。	1,000円
	運営推進会議	運営状況、行事報告、意見交換をし ます。	無料
12月	クリスマス会	ご家族を招待してクリスマスのイベ ントを楽しんでいただき、家族交流を して頂きます。	3,000円
	誕生会	11月、12月誕生者のお祝いをし ます。	2,000円
1月	新年会	ご家族を招待して年の初めのお祝い を一緒にします。	1,000円
	運営推進会議	運営状況、行事報告、意見交換をし ます。	無料
2月	節分	節分行事で豆まきやゲームを楽しん で頂きます。	無料
	観梅	梅の見学を行い春の訪れを感じて頂 きます。	2,000円
	誕生会	1月、2月誕生者のお祝をします。	2,000円
3月	雛祭り	ご家族を案内して雛の節句のお祝い をします。	2,000円
	食レク	手作りおやつをご利用者と一緒に行 います。	2,000円
	運営推進会議	運営状況、行事報告、意見交換をし ます。	無料

4. 研修計画

重点目標	よりよいサービスを提供するため、内部研修や外部研修に積極的に参加し、正しい介護知識や技術の向上を図ります。
年 度 目 標	
①	内部研修では行政や専門家による指導を取り入れます。
②	外部研修では効果的な研修を選定し、積極的に参加します。
③	必要とされる資格の取得につとめ、専門性を高めます。
中 長 期 目 標	
①	介護福祉士の割合を増やします。
②	認知症介護実践者研修修了者を増やします。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	接遇	認知症高齢者とのコミュニケーション方法 対外的な電話や接客の対応方法	全職員
	外部研修	在宅介護研修センター	介護職員
5月	食事介助	認知症高齢者それぞれに応じた食事の提供方法	全職員
	口腔ケア 外部研修	口腔ケアの基本を学び実践に活かす 地域密着型サービス協会	介護職員
6月	感染症	食中毒の基本を学び、感染予防の大切さを知る	全職員
	熱中症 外部研修	熱中症の基本を学び、予防と対策を知る 愛媛県社会福祉協議会 「福祉の職場」新任職員研修	介護職員

月	項目	内容	参加者
7月	認知症 外部研修	認知症を正しく理解し、より良いケアを考える 愛媛県社会福祉協議会 介護職員技術向上講習会 (身体介護・2年未満) サービス向上研修会 「福祉の職場」中堅職員研修 地域密着型サービス協会 感染症研修	全職員 介護職員 看護職員
8月	楽しみ支援 外部研修	行事やレクリエーションを中心に、認知症高齢者が楽しみを感じて頂く取り組みを考える 愛媛県社会福祉協議会 サービス向上研修会	全職員 介護職員
9月	防災 外部研修	防災マニュアルをもとに、避難方法や備蓄を確認する 愛媛県社会福祉協議会 介護職員技術向上講習会 (身体介護・2年以上)	全職員 介護職員
10月	介護技術 外部研修	必要とされるケアを選択し、職員全員で統一した技術を身に付ける 愛媛県社会福祉協議会 サービス向上研修会	全職員 介護職員
11月	感染症 外部研修	インフルエンザとノロウイルスの基本を学び、感染予防の大切さを知る 地域密着型サービス協会	全職員 介護職員
12月	虐待防止 身体拘束廃止 外部研修	高齢者の虐待について定義や種類、危険因子を学び、対応方法を考える 在宅介護研修センター	全職員 介護職員

月	項目	内容	参加者
1月	入浴と排泄 外部研修	行っているケアの問題点や、より効果的なケアの方法等を話し合う 愛媛県社会福祉協議会 介護職員技術向上講習会 (認知症介護・初級) 介護職員技術向上講習会 (認知症介護・上級)	全職員 介護職員
2月	ケアプラン 外部研修	計画作成担当者を中心に、アセスメントの充実化やプランの問題点や見直しをする 地域密着型サービス協会	全職員 介護職員
3月	介護保険 個人情報保護 外部研修	介護保険の基本とグループホームの基本個人情報保護法、守秘義務の大切さを学ぶ 在宅介護研修センター	全職員 介護職員

事業所名 : ケアハウス鶴翠苑

1. 理念・基本方針

運営理念	高齢者の特性に配慮した住み良い生活空間を提供するとともに、自己決定に基づいて、健康で明るく、心豊かな生活を営むことが出来るよう、能力を有する職員が熱意を持って自立支援を行います。
運営方針	①入居者の人権を尊重し、自分らしく心豊かに生活を送って頂くことを目指し支援を行います。 ②入居者一人ひとりのことをよく知り、個々に合った支援を行います。 ③自立した生活を継続することができるように専門スタッフのチームケアによる充実したサービスを行います。

2. 重点目標

重点目標	ご利用者の人権を尊重し、自分らしく心豊かに生活を送って頂けるように支援します。
年 度 目 標	
①	ご利用者一人一人の生活歴や性格をもとに介護支援計画を策定し、ニーズに応じた支援を行います。
②	生活において、心身ともに健やかなレクリエーションの提供を図ります。
③	地域交流に向け、地域の公民館、学校で行われる行事に参加していきます。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者の住みやすい環境、ご家族の安心、地域の関心を図り、信頼のある施設を目指します。

重点目標	ご利用者の心身の状態観察・把握を行い、ご家族、医療機関と連携対応し、重症化を防ぐように努めます。
年 度 目 標	
①	ご利用者の定期健康診断、往診による医療機関との連携を行い、介護職員、看護師、機能訓練指導員等の総合職員体制に努めます。
②	ご利用者の日常生活全般、食事・排泄・睡眠・入浴・運動等の状態観察を密に行っていきます。バイタル測定・チェックを行い、日々の健康管理と早期発見に努めます。
③	感染症予防対策の徹底を行います。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者の健やかなる生活とご家族の信頼となるようにします。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域交流を深め、地域と施設が共存していく事を目指します。
年 度 目 標	
①	買い物、ドライブ行事を充実させ、地域と関わる機会を作ります。
②	ご家族、地域の方が参加されるような行事を実施し、地域とご家族の交流の場を提供します。
③	運営推進会議にご家族、地域の方が参加して頂き、活気ある場となるようにします。
中 長 期 目 標	
①	施設内・施設外において、交流を深め、開かれた施設として地域より受け入れて頂くようにします。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	観桜会	桜の名所で観桜します。	無料
	誕生日会	月の誕生者の祝いをします。	1名 324円
	ドライブ（お花見）	ご利用者希望場所選定し、季節感情景場所に出掛けます。	8,400円
	買い物（2回）	希望者募り、近所のスーパーに行きます。	
	運営懇談会	運営状況報告行い、意見交換を行います。	無料
5月	避難訓練 （グループホーム鶴翠と合同訓練）	火災想定での避難訓練・消火訓練・救急救命法の実施を行います。	無料
	誕生日会	月の誕生者の祝いをします。	8,400円
	ドライブ	ご利用者希望場所選定し、季節感情景場所に出掛けます。	
	買い物（2回）	希望者募り、スーパーに行きます。	
6月	誕生日会	月の誕生者の祝いをします。	8,400円
	ドライブ	ご利用者希望場所選定し、季節感情景場所に出掛けます。	
	買い物（2回）	希望者募り、スーパーに行きます。	
	運営懇談会	運営状況報告行い、意見交換を行います。	無料
7月	七夕祭り	短冊に願いごと記入後、飾り付けをします。	
	盆踊り大会参加	亀天荘にて行われる盆踊りに参加します。	無料
	誕生日会	月の誕生者の祝いをします。	8,400円
	ドライブ	ご利用者希望場所選定し、季節感情景場所に出掛けます。	
	買い物（2回）	希望者募り、日用雑貨・衣料店に行きます。	

月	行事名	内容	予算
8月	丹原七夕祭り見学	丹原商店街にて実施される祭りの見学に行きます。	無料
	誕生会	月の誕生者の祝いをします。	8,400円
	ドライブ	ご利用者希望場所選定し、季節感情景場所に出掛けます。	
	買い物(2回)	希望者募り、日曜雑貨・衣料店に行きます。	
	運営懇談会	運営状況報告行い、意見交換を行います。	無料
9月	敬老会	職員による出し物、入居者参加型の催し物を行います。	
	誕生会	月の誕生者の祝いをします。	8,400円
	ドライブ	ご利用者希望者場所選定し、季節感情景場所に出掛けます。	
	買い物	希望者募り、スーパーに行きます。	
10月	誕生会	月の誕生者の祝いをします。	8,400円
	ドライブ	ご利用者希望場所選定し、季節感情景場所に出掛けます。	
	買い物	希望者募り、スーパーに行きます。	
	運営懇談会	運営状況報告行い、意見交換を行います。	無料
11月	紅葉狩り	紅葉の名所で紅葉狩りに行きます。	無料
	避難訓練 (グループホーム鶴翠と合同訓練)	火災想定での避難訓練・消火訓練を行います。	無料
	誕生会	月の誕生者の祝いをします。	8,400円
	買い物(2回)	希望者募り、スーパーに行きます。	

月	行事名	内容	予算
12月	クリスマス会	職員の出し物を行い、サンタクロースからのプレゼントを贈ります。クリスマスケーキを楽しみます。	5,000円
	誕生会	月の誕生者の祝いをします。	無料
	買い物	希望者募り、スーパーに行きます。	
	ドライブ	ご利用者希望場所選定し、季節感情景場所に出掛けます。	
運営懇談会	運営状況報告を行い、意見交換を行います。		
1月	新年会	新年の挨拶を行い、ご利用者による新年の抱負を聞かせて頂きます。	600円
	初詣	近所の神社へ参拝します。	無料
	誕生会	月の誕生者の祝いをします。	8,400円
	買い物(2回)	希望者募り、スーパーに行きます。	
2月	映画鑑賞会	感染症予防対策期間に応じます。スクリーンを使い、映画鑑賞します。	300円
	節分	ご利用者による豆まき、無病息災を願います。	216円
	誕生会	月の誕生者の祝いをします。	8,400円
	買い物(2回)	希望者募り、スーパーに行きます。	
3月	ドライブ(観梅会)	ご利用者希望場所選定し、季節感情景場所に行きます。	300円
	映画鑑賞会	感染症予防対策期間に応じます。スクリーンを使い、映画鑑賞します。	無料
	運営懇談会	運営状況報告を行い、意見交換を行います。	
	ひな祭り	ひな人形飾りを鑑賞し、ひな祭り会をします。	無料
3月	誕生会	月の誕生者の祝いをします。	8,400円
	ドライブ	ご利用者希望場所選定し、季節感情景場所に行きます。	
	買い物(2回)	希望者募り、スーパーに行きます。	
	避難訓練	風水害想定での避難訓練を行います。	無料

クラブ活動 月1回 絵手紙・習字

4. 研修計画

重点目標	介護従事者として必要な知識を身に付け、より良い支援を行う事が出来るように職員の資質の向上を図ります。
年 度 目 標	
①	外部研修に積極的に参加し、介護技術、コミュニケーション技術知識の習得を図り、ご利用者とご家族に安心した支援を提供します。
②	内部研修では、外部研修で得た知識を他の職員に伝え、職員全員で共有して、職員間の連携を図ります。
③	外部研修、内部研修を職員全員が受け、専門的知識を深めていきます。
中 長 期 目 標	
①	介護福祉士、介護支援専門員等の資格取得者を目指します。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	接遇について 外部研修	電話対応、来客対応、言葉遣いなどについて学び、社会人としてのマナーを学びます。 愛媛県在宅介護研修センターにて学びます。	全職員 介護職員
5月	法令遵守について 外部研修	法令遵守の基本姿勢、基本原則を学ぶとともに、介護従事者としての行動規範を再確認し身につけます。 愛媛県在宅介護研修センターにて学びます。	全職員 介護職員
6月	身体介助について 外部研修	ケアハウスでもよく行われる入浴、排泄、移乗の介助を中心に入浴者の方に負担をかけない介助方法について学びます。 愛媛県在宅介護研修センターにて学びます。	全職員 介護職員

月	項目	内容	参加者
7月	高齢者とのコミュニケーションについて 外部研修	高齢者とコミュニケーションをとる際に気をつける事や方法等を学び、信頼関係の構造を行い、より良い支援に繋がります。 愛媛県社会福祉協議会にて学びます。	全職員 介護職員
8月	緊急時の対応について 外部研修	施設で起こり得る緊急に介護職員は適切な対応が求められます。緊急時に適切な対応をすることが出来るよう研修を行います。 愛媛県社会福祉協議会にて学びます。	全職員 介護職員
9月	ヒヤリハット、事故発生の予防について 外部研修	事故発生の要因となることへの気づきを身に付け、要因を解消し、発生を予防するためにはどうすればいいのかを学びます。 愛媛県社会福祉協議会にて学びます。	全職員 介護職員
10月	認知症に対する理解、対応について 外部研修	高齢化とともに入居者の中でも認知症状の出ている方もいらっしゃいます。認知症の方との関わり方を学び、入居者の方が安心して生活ができるようにします。 愛媛県社会福祉協議会にて学びます。	全職員 介護職員

月	項目	内容	参加者
11月	感染症の予防と対策について 外部研修	施設にて発生の可能性のある感染症について学び、その予防方法について職員全員で周知をして感染症の予防法を実施することのできるよう研修を行います。 愛媛県在宅介護研修センターにて学びます	全職員 介護職員
12月	介護記録について	誰が見てもわかりやすい、今後につなげることのできる記録となるよう研修を行います。	全職員
1月	高齢者の食事 外部研修	食事はご利用者の方にとって大きな楽しみです。大きな楽しみである食事を無理なくおいしく食べる事ができる為にはどうすればいいかを学びます。 愛媛県在宅介護研修センターにて学びます	全職員 介護職員
2月	身体介助について 外部研修	ボディメカニクスを理解し、入居者、介護者ともに負担のかからない介助方法を学びます。 愛媛県在宅介護研修センターにて学びます。	全職員 介護職員
3月	身体拘束、高齢者虐待について 外部研修	どのような行為が身体拘束や虐待にあたるのかを把握し、日頃の支援の中で知らず知らずのうちにしてしまう拘束や虐待を行わないよう研修を行います。 愛媛県在宅介護研修センターにて学びます。	全職員 介護職員

事業所名 : ヘルパーステーション 鶴翠

1. 理念・基本方針

運営理念	要支援または要介護の方に対して、介護支援専門員のケアプランに沿った介護サービス計画書を作成し、介護福祉士・専門課程の研修を修了したホームヘルパーが、掃除・洗濯・食事・身の回りのお世話・生活などに関する相談及び助言と支援を行い、在宅生活を支えるサービスを致します。また、身の回りのことを少しでも自立できるお手伝いもします。
運営方針	<p>①事業所の訪問介護員が居宅を訪問し、ご利用者の心身の状態、その有する能力に応じて日常生活上の援助をします。</p> <p>②事業の実施に当たっては、市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。</p> <p>③西条市による介護予防・生活支援事業等の業務を受諾し、サービスの提供を行い、在宅の一人暮らし高齢者等の自立を支援します。</p>

2. 重点目標

重点目標	訪問介護員及び登録訪問介護員の確保に努め、より多くの在宅生活を支援します。
年 度 目 標	
①	知人や関係機関に働きかけて、介護員の確保に努めます。
②	訪問介護事業所を併設していない、居宅介護事業所中心に働きかけて、ご利用者の確保に努めます。
中 長 期 目 標	
①	介護職員の若返りを図ります。

重点目標	各自の知識や介護技術の向上を図り、質の高いサービス提供に努めます。
年 度 目 標	
①	毎月の研修を通じて、スキルアップに努めます。
②	各職員と定期的にサービス提供責任者が同行訪問し、質の高いサービスの提供を行います。
中 長 期 目 標	
①	身体介護のサービスを誰でも出来るように介護技術を高める事で、満足して頂けるサービスを提供できるようにします。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域の行事などに参加していきます。
年 度 目 標	
①	亀天会・盆踊り大会に参加します。
②	河北会館・ふれあい祭りに参加します。
③	西条市在宅介護支援センター主催・100歳体操に参加します。
中 長 期 目 標	
①	地域との繋がりを大切にして、ヘルパー事業所をアピールしていきます。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
11月	ふれあい祭り	河北会館主催の祭りに参加して、住民の方にヘルパー事業所をアピールします。	無料
毎週	100歳体操	100歳体操を通じて地域の高齢者とふれあう機会を作り、事業所をアピールします。	無料

4. 研修計画

重点目標	各自、現在のスキルに甘んじることなく、介護技術の向上に努めます。
年 度 目 標	
①	毎月サービス提供責任者が、各訪問介護員と同行訪問を行い、介護計画書に沿ったサービスが提供出来るようにします。
②	サービス提供時、各自問題意識を持ち、職員会議で問題点を発表し、介護技術の改善に努めます。
中 長 期 目 標	
①	各自の介護技術を高め、職員間で意見交換できるように、切磋琢磨しながら事業所のレベルアップに努めます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
5月	倫理・尊厳	権利擁護・虐待予防について	全職員
6月	身体介護	身体の清潔について	全職員
7月	リスク管理	苦情処理について	全職員
8月	個人情報保護	秘密保持について	全職員
10月	身体介護・実習	歩行介助について	全職員
11月	褥瘡	褥瘡予防について	全職員
12月	感染	感染症予防について	全職員
1月	リスク管理	緊急時・事故発生時の対応について	全職員

1. 理念・基本方針

運営理念	住み慣れた地元において日常生活の世話及び日常生活の中での機能訓練をニーズに合わせて実施していく事で、安心して自立した生活を送れるように支援していきます。
運営方針	<p>①ご利用者の人格を尊重した生活支援を実施していきます。</p> <p>②日常生活の中でご利用者やご家族の思いに沿った機能訓練を個別に実施していき自立に向けた支援をおこなっていきます。</p> <p>③地域との結びつきを重視してご利用者と地域との関係が続けて行えるように、地域との共有関係が持てる働きかけを行っていきます。</p> <p>④介護生活計画の適時見直しとご利用者に合わせて適切な介護技術をもってサービスの提供を行っていきます。</p>

2. 重点目標

重点目標	入所支援センター・居宅支援事業所・医療機関等との情報共有に努め登録者増を図ります。
年 度 目 標	
①	地域・在宅・居宅事業所・医療機関等への訪問を行い苑での活動状況の周知にて利用促進に努めます。
②	地域との関係構築の為、運営推進会議と苑内イベントの開催、相談会の実施また、近見苑から地域行事や公民館活動への参加を行い、苑の認識を深めて地域の方が足を運べる環境作りをします。
③	職員の育成をし、一般的な行動や専門知識・技術を深め介護の質を向上して登録利用者の満足度向上に努めます。
中 長 期 目 標	
①	平均登録利用者数 20 人を目標にします。

重点目標	ご利用者やご家族のニーズを捉えて生活に安心や楽しみを見出せるように努めます。
年 度 目 標	
①	ご利用者やご家族のニーズに応えながら、定期的なミーティングを実施して、アセスメントの見直しを行い個別のテーマに沿ったプランを遂行していきます。
②	職員間での情報の共有化を計りニーズに沿った個別の介護計画で支援を実施することで穏やかに過ごして頂くよう努めます。問題が生じた時は職員・ご家族・医療等、全体で密な連絡を取り合って対応していきます。
③	職員が礼儀と思いやりを大切にし、なじみの関係を築いていく支援をしていきます。
中 長 期 目 標	
①	顧客満足度の地域 No1 を実現します。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	自宅で暮らして頂くため地域から切り離さない支援をします。年齢的・身体的・環境的に困難な方は近見校区の行事に職員と参加をしていきます。
年 度 目 標	
①	図書館や公民館のサロンなどの資源を活用します。
②	防災訓練は近見苑だけでなく校区の訓練に参加していきます。近見苑で行う時も地域の方に参加して頂きます。
③	公民館や民生委員から地域の活動情報収集に努めて年間行事を把握していきます。
中 長 期 目 標	
①	地域の避難場所となり、地域の方からの援助も合わせて行って頂けるようにします。また避難時におけるご利用者の安心できる環境整備を地域との共助の関係づくりから行います。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	近見運動会 花見	校区の運動会に参加し楽しむ。 桜を眺め季節感を味わう。	無料 500円
5月	野間馬ハイランド 鍼灸体験	動物と触れ合い楽しんで頂く。 地域の方に体験して頂く	300円
6月	ドライブ	初夏の風にあたり季節を感じて頂く。	300円
7月	七夕	笹飾りや短冊を飾り願い事をして夏の 風物詩を感じて頂く。	5,000円
8月	そうめん流し	そうめんを味わい涼を感じて頂く。	1,500円
9月	おはぎ作り	おはぎを作り、お彼岸の風習を行って 頂く。	500円
10月	防災訓練	火災を想定し避難訓練・消火訓練を行 う。近隣の方にも参加を呼び掛ける。	無料
11月	芋ほり	菜園でつくった芋を収穫し召し上がっ て頂く。地域の方との交流会とする。	1,500円
12月	クリスマス会	年末の雰囲気を楽しみ地域の方との交 流をはかる。	500円
1月	鏡開き	無病息災を祈り餅を味わって頂く。	500円
2月	節分	豆まきをすることで季節感を味わう。	500円
3月	近見文化祭	近見苑の手造りの物品を近見公民館に 展示させて頂けるように働きかける。	1,000円

各ご利用者の誕生会は一人一人実施します。また運営推進会議と行事を併用し
ご家族や地域の方々と一緒に楽しんで頂きます。

4. 研修計画

重点目標	専門知識・技術の計画的な研修と学習を継続しサービスの質の向上をしていきます。
年 度 目 標	
①	毎月の研修で共通の目標をたて目標達成できるようにします。
②	礼儀と丁寧な言葉遣いにこころがけ、ご利用者に満足頂けるサービスを提供します。
③	外部研修に参加し参加者が全職員に徹底していきます。
中 長 期 目 標	
①	サービスの質の向上により、ご利用者・ご家族からの満足度を向上させていき職員のやる気と、やりがいに繋げていきます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	ケアプラン作成手順	アセスメント作成から	全職員
5月	小規模多機能居宅介護とは	特徴と役割	全職員
6月	食中毒	食中毒の注意点	全職員
7月	リスクマネジメント	問題点と解決法	全職員
8月	介護記録について	自身を守る介護記録	全職員
9月	認知症の種類	基本的な知識から対応報方法	全職員
10月	コミュニケーション	方法や仕方	全職員
11月	防犯、防災対策	予防方法と対策	全職員
12月	インフルエンザ	感染しない工夫	全職員
1月	レクリエーションの効果	ご利用者主体の個別レク	全職員
2月	口腔機能向上	口・歯・頬に刺激運動	全職員
3月	身体拘束、虐待	虐待の起こる原因から	全職員

内部研修です。内部研修では毎月内容にかかわる目標を決めて達成できるようにしています。月末に自己評価をしていきます。

外部研修：身体拘束・虐待について

地域医療と介護の連携、認知症高齢介護 （日程未定）

事業所名 : 小規模多機能型居宅介護 亀天水陽苑

1. 理念・基本方針

運営理念	いつでも自分らしく。ゆっくり、のんびりとした生活を。
運営方針	<p>①ご利用者一人一人が出来ることを最大限生かし、生きがいが生まれる支援を行います。</p> <p>②家庭的な雰囲気の中で、状態に応じた個々の支援、質の高いサービスの提供をさせていただきます。</p> <p>③地域の中での交流の場となり、誰でも気軽に立ち寄ることができる情報発信源の施設になるよう努めていきます。</p> <p>④家と施設の中間的な役割を果たし旧東予市内、丹原地区での在宅サービス事業所の拠点となり、他事業所との連携を強化しお客様の生活を支えます。</p>

2. 重点目標

重点目標	個々の生活を大切にし、今までの暮らしに近い生活を送れるよう支援します。
年 度 目 標	
①	個々の生活や想いに寄り添い、現在の生活、心身の状態に合わせた最適なサービス提供を行います。
②	毎日の生活の中での生活習慣を大切にし、生きがいを持って頂けるよう支援に努めます。
③	ご利用者、ご家族の要望に迅速に対応ができる環境を整え、柔軟なサービス提供を行います。
中 長 期 目 標	
①	ご家族、地域の方々と共に、ご利用者の方々の生活を支えることができる体制を整えます。

重点目標	小規模多機能型居宅介護としての役割を遂行し利用される方々（ご利用者、ご家族）が安心して生活を継続できるよう支援します。
年 度 目 標	
①	常時登録者 29 名を目指し、利用されている方々やご家族の生活を支えていきます。
②	地域へ出向き、小規模多機能型居宅介護の内容や利用しながら入所へのルートを伝え利用につなげるとともに、心身の状態に応じた施設へのスムーズな入所につなげます。
③	介護サービスを利用されていない方々の把握を行い、広報活動を通じて新たなご利用者の受け入れを積極的に行います。
中 長 期 目 標	
①	小規模多機能型居宅介護を浸透させ、丹原町や旧東予市内で在宅サービス事業所としての拠点となり、在宅生活を支援します。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	身近な苑となり、地域の中での交流の場、情報発信を行う場となります。
年 度 目 標	
①	苑内行事（避難訓練等含む）への参加を促しながら、地域行事の予定を把握し、苑からも積極的に行事へ参加し関係作りに努めます。
②	運営推進会議参加を促し、会議を利用し苑での活動を伝え、地域の方々との情報交換を図ります。
③	挨拶や声掛け等行い顔の見える関係作りに努めます。
中 長 期 目 標	
①	地域資源の一つとして地域の方々が気軽に立ち寄り、憩いの場、相談の窓口になるよう体制、環境を整えます。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	運営推進会議 花見	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行います ・季節感を味わって頂く為、桜鑑賞を行います 	実費
5月	避難訓練 (火災、風水害) 新緑狩り	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行います ・季節感を味わって頂く為、山間部へ行き景色を楽しんで頂きます 	実費 500円
6月	運営推進会議 紫陽花見学	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行います ・季節感を味わって頂く為紫陽花の鑑賞を行います 	実費 500円
7月	七夕 亀天荘盆踊り	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕飾りを作成し苑内に飾ります ・亀天荘盆踊りに参加します 	3,000円
8月	運営推進会議 七夕飾り見学 水陽苑夏祭り	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行います ・丹原商店街に飾られる七夕飾りを見学します ・苑内に屋台を設置し、ご家族、地域の方々にも声をかけ夏祭りを行います 	500円 5,000円
9月	敬老会 運動会见学 (三芳小学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族、地域の方々等に参加して頂き、苑内にて敬老会を行います ・小学校の運動会见学を行います 	3,000円
10月	運営推進会議 運動会 神輿、獅子舞 見学	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行います ・苑内にてご利用者の状態に合わせた運動を取り入れた運動会を行います ・獅子舞、神輿見学を行います 	2,000円 3,000円

月	行事名	内容	予算
11月	避難訓練 (火災、風水害) 文化祭	・ご利用者、ご家族、地域の方々等参加して頂き、職員と共に避難訓練を行います ・地域の公民館や学校の文化祭へ参加し地域交流を図ります	500円
12月	運営推進会議 クリスマス会 餅つき・お正月飾り作り	・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行います ・登録者ご家族、地域の方々等参加して頂き、苑内にてクリスマス会を行います ・わら草履等を手作りしお正月の飾りを作成します ・餅つきを行い正月の準備を行います	3,000円 5,000円
1月	初詣	・近隣神社へ初詣に行きます	645円
2月	運営推進会議 節分	・ご利用者、ご家族、地域の方々等を交え会議を行います ・季節感を味わって頂く為、苑内にて節分を行います	300円
3月	ひな祭り	・季節感を味わって頂く為、苑内にてひな祭りを行います	実費

4. 研修計画

重点目標	基本的な知識、技術を身につけ、外部研修への参加を積極的に行います。
年 度 目 標	
①	各職種の役割を理解し基本的な知識、技術習得に努めます。
②	習得した基本的な知識や技術を現場で活かし、ご利用者個々に応じた対応、臨機応変な対応を柔軟に行います。
③	外部研修で習得した知識や技術を職員間で伝え合い、職員全体のスキル向上に努めます。
中 長 期 目 標	
①	個々の能力に合わせ（適材適所）、誰でも楽しんで働くことができる環境にするとともに、介護、福祉に係る資格取得を促し、指導者の育成を目指します。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	接遇について	サービスを提供している意識を持ち、礼儀、言葉使い、ルールについて学びます。	全職員
5月	緊急時の対応について	基本的な知識、技術を知り、緊急時の適切な対応について学びます。	全職員
6月	介護技術について	基本技術、知識を習得し、個々に合った臨機応変な対応を学びます。	全職員
7月	災害対策について	災害時の役割を知り、実践できるよう技術、知識を得、個々の担当を適切に遂行できるよう学びます。	全職員
8月	高齢者虐待について	マニュアルを通して虐待に対しての知識を得、適切に対応ができるよう学びます。	全職員
9月	認知症ケアについて	認知症対応の基本を学び、事例検討を踏まえながら、個々の状態に合ったケアについて学びます。	全職員
10月	口腔ケアについて	口腔ケアがもたらす重要性を理解し、正しい個々に合ったケアについて学びます。	全職員
11月	感染対策について	マニュアルに沿って再度、感染を未然に防ぎ、拡大を防止する為の適切な対応について学びます。	全職員
12月	介護記録について	記録記入のポイントや、書き方等の知り、介護記録の重要性を学びます。	全職員
1月	事故対策について	事故の背景、原因の把握、危険予測を行うことの重要性を理解し、事故対策について学びます。	全職員

月	項目	内容	参加者
2月	高齢者に多い疾患について	疾患の内容の理解し、観察視点のポイント、異常の早期発見、早期対応の重要性を学びます。	全職員
3月	ケアプランについて	ご利用者個々のニーズを反映する為の視点を持ち、内容の意味を理解し、ケアプランの基礎を学びます。	全職員

1. 理念・基本方針

運営理念	認知症の方や身体介護が必要な方など、地域で生活されている中重度の利用者の方を幅広く受け入れ、様々なニーズに対応できるよう、介護技術の向上や医療機関との連携を強め、地域に根差した介護福祉施設事業を実施致します。
運営方針	<p>①ご利用者の全体像を把握し作成した介護計画を基に、ご本人とご家族の意向を反映した個別ケアを実施していきます。</p> <p>②中重度化するご利用者へ幅広いサービスの提供ができるよう、職員の資質向上に努めるとともに、医療機関との連携を密に行い、ご利用者に安心、安全を提供いたします。</p> <p>③地域における社会資源としての役割を担い、地域住民が集える、開かれた施設を目指します。</p> <p>④法人が実施する旧西条地区のサービス提供において中心的な働きを担い、お客様への十分なサービス提供が出来るように各事業所との連携を強化します。</p>

2. 重点目標

重点目標	ご利用者が生活全般において何を求めているか把握し、専門職が協働して各種計画書を作成し、計画に基づいたケアを提供する事で充実した施設生活を送って頂けるように努めます。
年 度 目 標	
①	他職種共同での専門性の高いケアを提供出来るように、アセスメントとケアカンファレンスを重点的に実施し、ご利用者の安心安全に努めます。
②	ご利用者に合ったケアを行うため定期的な見直しを実施し、統一した支援を行うことでご利用者の機能の維持・向上に努めます。
③	ご利用者にとって必要な事や望む事を24時間シートにて把握し、ご利用者の意思を実現させその人らしい生活が出来るように努めます。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者やご家族の意思を反映させ、在宅生活の延長としての生活の場を提供します。また、各職種間で情報を共有し、ご利用者個々に対する統一した処遇を行い生活の質の向上を図ります。

重点目標	ご利用者の異常に早期に気付き、協力医療機関との連携を密に行うことで、医療と介護からご利用者を支え、安定した生活を送る事が出来るように支援します。また、終末期に関してご利用者、ご家族の意向を確認しニーズに応えられる体制を整えます。
年 度 目 標	
①	ご利用者個々の現在の疾患、既往歴の把握に努め、日々の状態の把握と早期発見に努めます。
②	主治医、協力医療機関との連携を図り、両者の受け入れをスムーズに行える環境づくりを行います。
③	施設として看取りを行うことに対しての研修を行い知識と技術を向上させ、受入れ体制を整えながら看取りが行える環境を作ります。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者やご家族が望む最期について、施設としての役割を担い、安心や信頼の出来る場所となるよう努めます。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域の催事に積極的に参加し、地域の皆様との関係を築きながら地域に根付いた施設を目指します。
年 度 目 標	
①	地域からのボランティアの受入れや清掃活動、催事に赴き地域住民との協力を図ります。
②	運営推進会議等に地域の住民にも参加して頂き、施設への理解を促します。
③	入所希望者について、施設行事等の招待や広報等の配布を行い、施設での動きを広め、様々な方々に施設の動きを周知して頂けるよう努めます。
中 長 期 目 標	
①	福祉サービスについて地域の中心となる施設を目指し、特養・グループホーム・小規模等、地域と住民の頼れる場所となります。また、居宅サービスについても充実させ地域を支えられる存在となります。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	桜の花見	桜の花の名所をまわり見学する	500円
5月	つつじ見学	つつじの花の名所をまわり見学する	500円
6月	あじさい見学	あじさいの花の名所をまわり見学する	500円
7月	七夕祭り	七夕飾りを作り、そうめん流しを実施	5,000円
8月	納涼祭	西条の花火大会に合わせ、施設の屋上で地域の皆様とともに夕涼みを行う	7,000円
9月	敬老会	合同レクリエーション、職員の出し物を実施しご利用者に楽しんでいただく	4,000円
10月	西条祭り見学	西条祭りを見学する	無料
11月	紅葉狩り	紅葉のきれいな名所をまわり見学する	500円
12月	クリスマス会、 餅つき大会	クリスマスプレゼント、ケーキを準備し、レクリエーションを楽しむ ご利用者と職員でお餅をついたり、丸めたりしてお餅つきを楽しむ	4,500円 5,000円
1月	初詣	施設近隣の神社を詣で、新年を祝う	無料
2月	梅見学	梅の花のきれいな名所をまわり見学する	500円
3月	ひなまつり	ひな祭りの季節を味わって頂く	4,000円

4. 研修計画

重点目標	計画的に内部・外部研修を行い、職員の介護技術、医療知識の向上に努めます。
年 度 目 標	
①	ユニットケアの良さを活かすため再度基本と応用を学び直し、ユニットケアの良さを最大限発揮できるよう努めます。
②	内部研修を行い、職員の能力を一定のレベルで保ち統一したケアを行えるよう努めます。
③	看取りについて意識を変え、技術と知識を向上させます。
中 長 期 目 標	
①	ご利用者の尊厳や自由のほか、看取りを含めご利用者とご家族が望むケアを実現させるよう学習を重ね、計画性を持ち常に技術と知識の向上に努めます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	虐待について	虐待について考える	全職員
5月	身体拘束について	身体拘束とは	全職員
6月	感染予防について	施設における感染対策	全職員
7月	事故防止について	事例検討	全職員
8月	褥瘡予防について	褥瘡の基本について	全職員
9月	介護計画について	ケアプランの重要性	全職員
10月	防災について	風水害・地震等の対応方法	全職員
11月	虐待について	虐待の早期発見	全職員
12月	身体拘束について	認知症と身体拘束	全職員
1月	感染予防について	インフルエンザ等の流行性の感染について	全職員
2月	事故防止について	事例検討	全職員
3月	褥瘡予防について	褥瘡と皮膚のケア	全職員

【外部研修】（東予地区老人福祉施設協議会研修）

※生活相談員研修会	1回	（時期未定）
※事務職員研修会	1回	（時期未定）
※看護職員研修会	1回	（時期未定）
※介護職員研修会	3回	（時期未定）
※栄養士研修会	1回	（時期未定）
※新任職員研修会	1回	（時期未定）
※介護支援専門員研修会	1回	（時期未定）
※機能訓練指導員研修会	1回	（時期未定）

事業所名 : 指定短期入所生活介護事業所 大師苑

1. 理念・基本方針

運営理念	認知症の方や身体介護が必要な方など、地域で生活されているご利用者の方を幅広く受け入れ、様々なニーズに対応できるよう、介護技術の向上や医療機関との連携を強め、地域に根差した介護福祉施設事業を実施致します。
運営方針	①ご利用者の在宅での生活状況を把握し、本人とご家族の意向を反映した個別ケアを実施していきます。 ②在宅生活を継続させるためのケアを行うため、必要な技術と知識を向上させ短期入所の重要性を高めます。 ③地域における社会資源としての役割を担い、地域住民が集える、開かれた施設を目指します。

2. 重点目標

重点目標	ご利用者の生活歴の把握と意思の尊重にて、住み慣れた地域での暮らしを継続します。また、ご利用者の意思に沿った計画により生活自体がより生きがいの持てる暮らしになるよう努めます。
年 度 目 標	
①	介護・機能訓練・栄養他においてアセスメントとケアカンファレンスに重点を置きご利用者が望むケアと必要なケアを明確にします。
②	ご利用者とご家族が望まれる生活について短期入所利用だけではなく、長期的にその後の暮らしを守れる安心と信頼を提供できる事業所になれるよう努めます。
中 長 期 目 標	
①	法人の提供する旧西条市のサービスにおいて、受入れの窓口となり、短期入所を通じ様々なサービス利用やご利用者とご家族の安心を提供できる施設となります。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域の催事に積極的に参加するとともに、地域の皆様にも施設へ来苑して頂き、地域と施設の交流を積極的に図ります。
年 度 目 標	
①	地域の清掃活動や催事に赴き、地域住民との協力を図ります。
②	運営推進会議等に地域の住民にも参加して頂き、施設への理解を促します。
③	ボランティアの受入れを積極的に行い開かれた施設運営を行っていきます。
中 長 期 目 標	
①	地域での施設の知名度を上げ、誰もが知る存在となり地域の社会資源として、地域住民に気軽に利用して頂けるような施設を目指します。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	桜の花見	桜の花の名所をまわり見学する	500円
5月	つつじ見学	つつじの花の名所をまわり見学する	500円
6月	あじさい見学	あじさいの花の名所をまわり見学する	500円
7月	七夕祭り	七夕飾りを作り、そうめん流しを実施	5,000円
8月	納涼祭	西条の花火大会に合わせ、施設の屋上で地域の皆様とともに夕涼みを行う	7,000円
9月	敬老会	合同レクリエーション、職員の出し物を実施しご利用者に楽しんでいただく	1,000円
10月	西条祭り見学	西条祭りを見学する	無料
11月	紅葉狩り	紅葉のきれいな名所をまわり見学する	500円
12月	クリスマス会、 餅つき大会	クリスマスプレゼント、ケーキを準備し、レクリエーションを楽しむ ご利用者と職員でお餅をついたり、丸めたりしてお餅つきを楽しむ	4,500円 5,000円
1月	初詣	施設近隣の神社を詣で、新年を祝う	無料
2月	梅見学	梅の花のきれいな名所をまわり見学する。	500円
3月	ひなまつり	ひな祭りの季節を味わって頂く	1,000円

4. 研修計画

重点目標	計画的に内部・外部研修を行い、職員の介護技術、医療知識の向上に努めます。
年 度 目 標	
①	内部と外部の研修にて専門的知識を身につけ、より良いサービスを提供するため、介護職員へ資格取得のための支援を行い、技術、知識の向上を図ります。
②	重度のご利用者についても受け入れをスムーズに行い、緊急時の対応についても迅速に行えるようにします。
③	法人（旧西条市事業所）のお客様の窓口となれるよう、様々なケア計画に対応できるようケア計画の研修と実践に努めます。
中 長 期 目 標	
①	旧西条市事業所のサービス利用の窓口となり在宅生活との継続と施設生活への移行への支援を行います。また、希望される様々な要望について対応できるようにケアについての知識と技術を向上させます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	虐待について	虐待について考える	全職員
5月	身体拘束について	身体拘束とは	全職員
6月	感染予防について	施設における感染対策	全職員
7月	事故防止について	事例検討	全職員
8月	褥瘡予防について	褥瘡の基本について	全職員
9月	介護計画について	ケアプランの重要性	全職員
10月	防災について	風水害・地震等の対応方法	全職員
11月	虐待について	虐待の早期発見	全職員
12月	身体拘束について	認知症と身体拘束	全職員
1月	感染予防について	インフルエンザ等の流行性の感染について	全職員
2月	事故防止について	事例検討	全職員
3月	褥瘡予防について	褥瘡と皮膚のケア	全職員

事業所名 : 小規模多機能型居宅介護 大師苑

1. 理念・基本方針

運営理念	笑顔 真心 自分色
運営方針	<p>①ご利用者・ご家族・職員みんなの笑顔があふれる雰囲気づくりに努めます。</p> <p>②思いやりと感謝の気持ちを忘れず、心のこもったサービスを提供します。</p> <p>③ご利用者がこれまで歩まれてきた人生を大切にし、その方らしい暮らしができるようにサポートします。</p>

2. 重点目標

重点目標	ご利用者一人一人が、その人らしく生活できるようなケアマネジメントを行います。
年 度 目 標	
①	アセスメントやカンファレンスを十分に行い、ご利用者の持っている力を活かしたケアプランを作成します。
②	モニタリングやケアプランの見直しをこまめに行うことで、ご利用者の状態に合わせたプランになっているかの確認を行います。
③	ご利用者に変化があった時や新たなニーズが出てきた時には、都度ミーティングを行うことで、各職種の連携を図り、プランとケアが繋がったものにします。
中 長 期 目 標	
①	ケアプランを見ただけでご利用者をすぐに想像できるようなその人独自の特色があるケアプランの作成・ケアマネジメントを行います。

重点目標	「行きたくなる事業所」づくりに努めます。
年 度 目 標	
①	レクリエーションや行事、毎日のちょっとした声かけを通して、ご利用者の笑顔を引き出す環境を作ります。
②	面会時や送迎時などにもご利用者の様子を報告したり、要望等をお聞きするなど、ご家族との連携を密にとり、信頼関係の構築に努めます。
③	職員が安心して働くことができる環境を作ります。
中 長 期 目 標	
①	特色や強みのある事業所を目指します。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	地域の資源を活かした生活の支援を行うと同時に、地域の拠点としての役割を果たします。
年 度 目 標	
①	特別養護老人ホーム大師苑と協力し、施設を地域の方々に開放して行う行事を企画し、地域交流を図ります。
②	地域での行事の予定を把握し、ご利用者が地域に出られる支援を行います。
③	地域で行われている清掃活動等に参加することで、近隣地域との関係づくりを行います。
中 長 期 目 標	
①	開かれた事業所づくりに努め、地域資源としての役割を果たします。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
4月	お花見	地域の桜の名所を見学し、季節感を味わって頂く	500円
	運営推進会議	運営状況の報告、意見交換を行う	
5月	つつじ見学	地域のつつじの名所を見学し、季節感を味わって頂く	500円

月	行事名	内容	予算
6月	紫陽花見学 運営推進会議	地域の紫陽花の名所を見学し、季節感を味わって頂く 運営状況の報告、意見交換を行う	500円
7月	七夕祭り おやつレク	七夕飾りを作成し、苑に飾ることで季節感を楽しむ ご利用者と職員が一緒におやつを作る	1,000円 100円× 人数分
8月	納涼祭 運営推進会議	市民納涼花火大会の日に、施設の屋上で花火と夕涼みを楽しむ 運営状況の報告、意見交換を行う	7,000円
9月	敬老会	職員による出し物を楽しんで頂き、敬老のお祝いをする	無料
10月	西条祭り見学 運営推進会議	西条祭りを見学し、季節感を味わって頂く 運営状況の報告、意見交換を行う	無料
11月	紅葉狩り おやつレク	地域の紅葉の名所を見学し、季節感を味わって頂く ご利用者と職員が一緒におやつを作る	500円 100円× 人数分
12月	クリスマス会 餅つき 運営推進会議	レクリエーションやケーキでクリスマスの雰囲気を楽しんで頂く ご利用者と職員が一緒にお餅を作る 運営状況の報告、意見交換を行う	100円× 人数分 100円× 人数分
1月	初詣	地域の神社にお参りしていただき、新年のお祝いをする	50円
2月	節分 運営推進会議	豆まきを行い、季節感を味わって頂く 運営状況の報告、意見交換を行う	300円
3月	ひな祭り	雛飾りの作成等を通して、ひな祭りの雰囲気を楽しんでいただく	1,000円

4. 研修計画

重点目標	仕事に対する意識を高めることで、職員の資質の向上を図ります。
年 度 目 標	
①	職員一人一人が個人目標を設定し、達成に向けて努力します。
②	内部研修を毎月行い、知識の共有を図ると共に、内部研修の担当を職員全員が担当することで、問題意識を高めます。
③	資格取得に向けた支援を行います。
中 長 期 目 標	
①	周りとの連携をとりながら、自分で考えて行動できる職員を育成します。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
4月	ケアプランについて	ケアプランについて理解し、ケアに反映させるにはどうしたらよいか考える	全職員
5月	介護技術について	正しい介護技術を理解し、実践できるようになる	全職員
6月	感染対策について	感染対策について理解し、予防や感染の拡大を防ぐことができるようになる	全職員
7月	褥瘡について	褥瘡について理解し、予防のための適切な方法を学ぶ	全職員
8月	身体拘束について	身体拘束について理解し、拘束しないケアをするにはどうすればよいか考える	全職員
9月	虐待について	虐待について学び、自分のケアを振り返る	全職員
10月	接遇について	礼儀やマナーについての正しい知識を持ち、誰に対しても恥ずかしくない対応ができるようになる	全職員
11月	認知症について	認知症についての理解を深め、ご利用者に寄り添ったケアを学ぶ	全職員

月	項目	内容	参加者
12月	口腔ケアについて	正しい口腔ケアの方法を理解し、実践できるようになる	全職員
1月	災害対策について	災害対策について学び、いざというときに実践できるようにする	全職員
2月	事故対策について	事故を予防するにはどうすればよいかを理解し、実践できるようになる	全職員
3月	緊急時の対応について	緊急時にとるべき適切な対処を理解する	全職員

事業所名 : 春日鍼灸院

1. 理念・基本方針

運営理念	一人一人にあった治療と、安全で適切でいたわりのある対応を行い、かかわる全ての人の健康維持と生活の質の向上に努めます。
運営方針	<p>①人の痛みや苦しみを理解し、「寄り添う治療」を行う鍼灸師を目指します。</p> <p>②原因と症状を的確に把握し、あらゆる知識、角度から検討し、その人に合った最良の治療ができるように努めます。</p> <p>③東洋医学のみだけでなく西洋医学、社会福祉等幅広い知識、技術の習得に努め、より安全で適切な治療を目指します。</p> <p>④ご利用者や地域の方々との交流を通じて、鍼灸について理解を深めて頂き、皆様に鍼灸を身近に感じてもらえるよう努めます。</p>

2. 重点目標

重点目標	新たな治療法の導入の検討と共に原点である灸治療の向上、普及に努めます。
年 度 目 標	
①	自宅でのせんねん灸の普及に努めます。
②	鍼灸に馴染みのない方にも気軽に受けしてもらえる治療法を取り入れます。
③	広告規制の範囲内で看板や掲示物を工夫し、周辺地域の方々に鍼灸院を利用してもらえるように努めます。
中 長 期 目 標	
①	外来、ご利用者、職員と多くの方に利用しやすい鍼灸院になるよう努めます。

重点目標	衛生安全面を徹底し、幅広い症状に対して効果を出せるよう努めます。
年 度 目 標	
①	徒手検査や西洋医学的な視点も取り入れた治療を心掛けます。
②	感染対策と事故防止の徹底を行い、安全で適切な治療を心掛けます。
③	治療だけでなく予防や生活指導の面も考え、鍼灸治療を行います。
中 長 期 目 標	
①	医療機関との連携に向けて治療、業務遂行基準の作成、改善を進めていきます。

3. 地域福祉活動計画・行事計画

重点目標	鍼灸院内や周辺施設での灸体験教室開催を目指します。
年 度 目 標	
①	ボランティア鍼灸や鍼灸体験参加者に鍼灸、特に灸の効果を理解してもらえよう努めます。
②	周辺地域の方とのコミュニケーションを積極的に行い、鍼灸院と鍼灸の認知に努めます。
中 長 期 目 標	
①	やいと（灸）を中心に養生法の一つとして鍼灸が地域に根付くよう努めます。

【行事予定】

月	行事名	内容	予算
11月	河北会館ふれあい祭り	お祭り参加者への健康相談と灸体験	無料
日付未定	介護予防教室	旧東予地区の公民館にて東洋医学による健康教室	無料

4. 研修計画

重点目標	未病と言われる鍼灸治療の得意分野の治療効果向上を目指し、幅広い知識と技術の向上に努めます。
年 度 目 標	
①	過去の失敗、困難症例の見直し、考察を行い、同じ失敗の防止と対応策を検討します。
②	鍼灸関連の勉強会に積極的に参加します。
③	介護支援専門員や登録販売者といった鍼灸以外の医療、福祉の資格取得を目標に勉強にも努めます。
中 長 期 目 標	
①	春日鍼灸院独自の治療法の確立とマニュアルの作成を行い、多くの方に対して効果的な鍼灸が出来るよう努めます。

【研修計画】

月	項目	内容	参加者
隔月	愛媛県鍼灸師会主催の勉強会	講師を招いて鍼灸技術と知識向上の為の講習	職員